



2020年8月27日

各位

会社名 凸版印刷株式会社
 代表者名 代表取締役社長 磨 秀晴
 (コード番号 7911 東証第一部)
 問合せ先 取締役執行役員財務本部長
 黒部 隆
 (TEL. 03 - 3835 - 5665)

通期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ

当社は、2020年6月19日に公表いたしました「2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました2021年3月期通期の連結業績予想及び配当予想につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2021年3月期 通期連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	—	—	—	—	—
今回発表予想(B)	1,440,000	40,000	38,000	22,000	63.56
増減額(B-A)	—	—	—	—	—
増減率(%)	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	1,486,007	66,413	66,719	87,047	261.06

2. 2021年3月期 配当予想

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想	—	—	—	—	—
今回発表予想	—	20.00	—	20.00	40.00
当期実績	—	—	—	—	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	—	20.00	—	(注) 40.00	(注) 60.00

(注)2020年3月期の期末配当及び年間合計には、創業120周年記念配当20円がそれぞれ含まれております。

3. 公表の理由

2021年3月期通期の連結業績予想及び配当予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による当社グループへの影響を合理的に算定することが困難なことから未定としておりました。しかしながら、国内における緊急事態宣言の解除等により経済活動再開の動きが出てきたこと、ならびに当社グループの2021年3月期第1四半期決算の実績を踏まえ、現時点において入手可能な予測等に基づき業績予想及び配当予想を合理的に算定することが可能と判断し、公表することといたしました。

業績予想におけるセグメント別の基本的な考え方は、以下の通りです。

情報コミュニケーション事業分野

ビジネスフォーム関連においては、自粛に伴う個人消費の落ち込みによる事務通知物の減少等を見込んでおります。

コンテンツ・マーケティング関連においては、オリンピック・パラリンピックをはじめとするイベントの中止や延期、販促需要の低迷を受け、商業印刷やSP関連ツールを中心に大きく減少することを見込んでおります。

一方、BPO関連においては、企業及び自治体からの案件の取り込み等により、増加することを見込んでおります。

また、T-DX(トッパン・デジタルトランスフォーメーション)は、企業の業務デジタル化対応やキャッシュレスなど、非対面・非接触のソリューションが増加していくと想定しております。

生活・産業事業分野

パッケージ関連においては、外出自粛により、飲料用包材や外食向けの業務用包材が減少する一方、医療・衛生包材や環境対応包材等は、国内外の需要を取り込み増加すると見込んでおります。

建装材関連においては、国内は、建築現場の休工や延期をはじめ市況が悪化しており、影響が長期化すると想定しております。一方、海外は、当社及び主要顧客の一時的な工場稼働縮小や停止影響を受けて減少しているものの、今後は回復傾向になると見込んでおります。

エレクトロニクス事業分野

ディスプレイ関連においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、車載向けをはじめとする市況悪化を受け、TFT液晶などが大きく減少すると想定しております。

半導体関連においては、企業の在宅勤務増加や5G等の普及に伴うサーバー需要の拡大を受けて、FC-BGA等が増加すると想定しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、新型コロナウイルス感染症の収束時期の変動といった、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、今後の様々な要因により、当該予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以 上